

## 想いの収納箱

クラフト分野 井波ゼミ A2201711 工藤美咲

### 研究の背景

心理学の講義で見た映画「ストロベリーショートケーキ」は、複数の主人公が存在する中で多くの想いが入り乱れる物語であった。この映画を見て、想いが伝わり難い・感じ取り難いもどかしさを感じた。私は、少しでも目の前の人の想いが理解できたら、相手もことを思いやることができるのではないかと感じ、その人を取り巻く想いは可視化することで、伝えられる言葉が生まれると考えた。また、研修先で見た厨子の作品は、宗教を越えた美しさを感じ、宗教的な意味を持たない、想いを収める箱を制作したいと考えた。そこからデザインを考えていく上で「内側に秘める美しさ」を取り入れたいと考えた。想いは、大切にしておくこともでき、忘れてしまうこともできる。自身の想いは自分自身で管理する。そうすることによって、その想いは自分にとっても他者にとっても美しいものに変化すると考える。つまりは、宗教的な意味を持たない、隔たりのない美しさがこの箱に宿るのではないかと考えた。

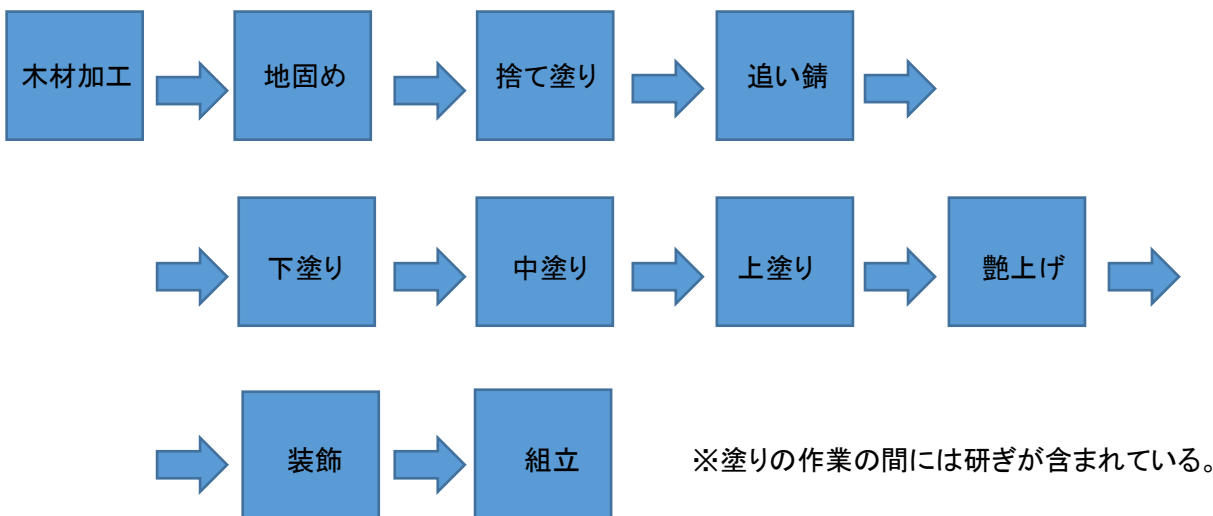


研修先で見た厨子

### 研究の目的

宗教的な意味を持たない、隔たりのない美しさの宿る箱は、使用する人に対してどのように影響するのだろうか？また、使用する人の影響によって箱はどのような美しさを創りあげていくのだろうか？この箱を使用することは、普段の生活では経験することのない行為である。つまりは、普段の生活とは切り離された空間に入り込むことができる。普段の生活とは切り離された空間を経験することで、かつての自分に区切りをつける。あからさまな変化が見られなくても、心の中にほんのわずかな余裕があれば、自分自身は成長している。そのような、自分自身を成長させる箱を提案したい。

### 計画(研究のプロセス)



※塗りの作業の間には研ぎが含まれている。

## 工程(簡略)



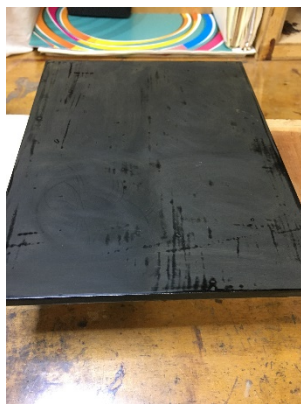
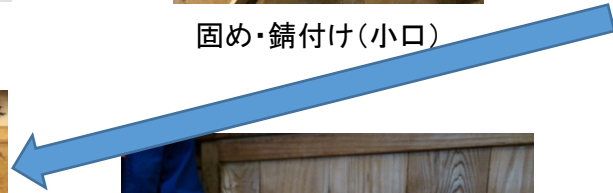
木材加工・組立(試し)



固め・錆付け(小口)



捨て塗り



研ぎ(二回目)



中塗り



装飾

## 成果もしくは考察

想いを可視化させることによって収める収納箱を制作・研究した結果として、漆と「想い」との融合が実現できた。しかし、精神的な考えが伴う作品であったためどのような形にしていけば伝わりやすくなるのかを、デザインしていくことが試行錯誤したところである。また、「自身が成長することで相手を思いやることができる」ということをどのように掘り下げていけるか分からなかった時もあったが、私を励ましてくれた友人や作品を制作する大変さを伝えてくれた先生方に気付かされ、自分なりの作品の制作・研究ができた実感している。

「想い」はその人の周りを取り巻いていると考えた。しかし、相手の想いを見ることはできないのが現実である。だが、収納箱を使用することで、自分のあの時の想いやあの場面での行動などを振り返ることができ、自分がより自分らしく成長していくことを手助けしていると考え。自己がしっかりと確立していれば、相手を思いやることのできるのではないだろうかと感じた。だから、収納箱が自身を成長させ相手を思いやれることでその人の想いに手を触れることができると、制作・研究を通して理解した。